

が幾ら動いても市民に浸透しないと。先般の協働隊の方々の発表の中でこういうのがありましたよね。「対馬は自然豊かですばらしい。」と、「けど、帰ってきて住んでみるとごみを捨てることを何とも思わない風土がある。」という発言がありましたよね。市長も聞いてあったと思いますよ。

やはり、そういうことをなくすためには、身近なところでレジ袋有料化なり、私は有料化から進んで、禁止まで持って行ってもらいたいなあという気持ちが、今あります。しかし、まだ具体化していない中ですから、一応、市の考えだけをお聞かせ願いました。

それで、このことについてはレジ袋を有料化するとともに、市のほうでマイバックといいますが、エコバッグを全世帯に配布するぐらいのことは、環境大臣が来られる前に徹底して、環境大臣に大いにアピールしてくださいよ。市長は笑ってありますけど、いかがですか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君、手短かにお願いします。

○市長（比田勝尚喜君） 今、レジ袋等を減らすための運動として、マイバックとかいろんな運動は、もう以前からやられていることだと思いますけども、その他の件については、今後の研究課題というふうにさせていただければなというふうに思っております。

○議員（5番 小島 徳重君） 以上で終わります。

○議長（小川 廣康君） これで、小島徳重君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩をいたします。再開を2時5分からといたします。

午後1時51分休憩

午後2時03分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 初めに、本市の海や空の玄関口は多くの観光客やビジネス客などで日々、にぎわいと活気をもたらしていますが、悲しいことに、市内の観光地や道路沿いに、ペットボトルや空き缶などが散乱しているのが見受けられます。

地区によってはボランティアによる回収が行われていますが、残念なことにポイ捨てが後を絶たないのが現状でございます。

本市を訪れる観光客の方々は、レンタカーや大型バスの車窓から散乱したごみを目の当たりにされています。観光地を含め、道路沿いや山林の環境保護の観点から、例えば181の行政区に罰則などを明記したポイ捨て禁止の回覧や看板設置が必要と感じています。

ポイ捨て禁止の看板設置など、当該地区の区長さんを通じて御相談があると思いますので、担

当部局の対応方よろしく願いをいたします。

さて、本日の一般質問の内容ですが、1点目は、比田勝港、巖原港、対馬空港にライブカメラ設置による可視化について。

2点目は、本市における国道、県道、市道の未改良区間の取り組みと今後の計画及び事業採択に向けた戦略の確立について。

3点目は、巖原港国内ターミナルのバリアフリー化の3点について御質問いたしますので、よろしく願いいたします。

1点目の質問ですが、海の玄関口の比田勝港及び巖原港の物流拠点にライブカメラを設置し、フェリーやジェットフォイルの入港や出港、駐車場の空き情報など、利用者への利便性のため、CATVにてリアルタイムに映像で提供するお考えはないでしょうか。

あわせて、空の玄関口の対馬空港に、航空機の離発着や駐車場情報など、CATVにて放映できるよう、ライブカメラの設置についてのお考えはないでしょうか。

海の玄関口比田勝港の国際航路及び国内航路の平成30年度の乗降利用者数は、約64万7,000人、同じく巖原港は約42万5,000人で、さらに、空の玄関口であります対馬空港の利用者数は25万8,000人、海路、空路の国際、国内航路の乗降利用者を合わせますと年間約133万人です。

対馬市CATVは、つしまる通信として地域での活動やイベント情報など、1日7回、放映されています。30分番組の視聴率を確認するすべはございませんが、30分番組を終えると民放放送などへの視聴が推察されます。CATV放送の視聴率向上に一助となるよう、海や空の玄関口の情景を映像で提供することにより、それぞれの地域から、またご家庭から、比田勝港や巖原港、また、対馬空港の人、物の流れがリアルタイムに視聴が可能となります。

特に、お盆や正月、さらに大型連休期間など、駐車場の確保が困難な時期がございます。駐車場の空き情報など映像での提供可能と考えますがいかがでしょうか。

対馬市CATVは指定管理で運営され、11年目に入りました。地域に密着した放送局として定着していますが、放送内容に変化や新たな取り組みが求められているのではないのでしょうか。

比田勝港及び巖原港、対馬空港の物流拠点の玄関口にライブカメラを設置し、CATVにて映像の提供を、ぜひお願いしたいと思っておりますので御見解、よろしく願いいたします。

2点目ですが、本市における国道、県道及び市道の未改良区間の取り組みと今後の計画及び事業採択に向けた戦略の確立についての質問です。

平成28年11月24日に、本市議会の国県道道路整備促進特別委員会にて協議決定されました、国道、主要地方道、一般県道19区間のうち、7区間の道路インフラ整備により、トンネル工法や直線化、さらに幅員も広くなり、通勤や通学、物流輸送、通院、救急搬送など、目的地ま

で時間短縮となり、改良後は走りやすい環境が確保されました。

一方、市内の国道、県道の12区間が未改良で、急カーブや狭隘な区間があり、目的地まで時間を要しています。地域によっては、日常生活の中で、移動手段に御不便や御不満を抱いている方々も多く、これらの未改良区間の早期改良が望まれています。

私の中では、道路の改良問題は、最大のテーマの1つでもありますので、関連の産業建設常任委員会に所属し、現状と課題、また今後の取り組みについて、所管部局より説明を受け、理解できましたが、未改良区間地域にお住いの方々はなぜできないのかとの疑念を抱いていることと推察をしております。

本市は181の行政区がございますが、地域によっては伝統芸能、伝統神事や伝統行事の継承、御先祖の供養など、地域特有の社会的基盤の永続という使命感もあり、それぞれの方々が住みなれた地域社会の空間で、地域を守るため懸命に日々生活をされています。

さて、本市の移動手段は、自家用車を中心に定期バスや乗り合いタクシーなど、出発地から目的地まで、より安心、安全で効率的に今より時間短縮で到達できる仕組みが必要と深く感じています。

このためには、国道、主要地方道、一般県道、市道の未改良7区間の取り組みと今後の計画についてお尋ねをいたします。

私が所属しています産業建設常任委員会では、未改良区間の現地調査を行い、早期着工を目指すことで一致していますが、計画はあるものの、道路整備に係る便益算出の前提要件が高く、着手までに時間を要しているのが現状です。

事業採択の前提要件としましては、交通量の推計、走行時間短縮、交通事故の減少のほか、走行の快適性、道路整備費用や道路維持管理に要する費用など多岐にわたる道路整備への投資の評価方法が、国土交通省より示されています。

実例ですが、未改良区間の工事再開のため、対馬振興局へ要望に赴きました。県振興局では、要望区間の交通量等の調査をした上での費用対効果の分析値は0.2で、その指数が1.0以上ないと事業採択ができないとの残念な回答でございました。

本市では、人口減少と相まって、交通量の減少により事業採択につながる1.0以上の分析値に到達できない未改良区間が続く限り、集落が衰退するのではないかと危惧されます。

本市の人口増に向けた移住、定住、若者の島外への転出を防ぐことは最重要施策と捉えています。市街地も含めて、181の行政区のいずれも限界集落とならないよう、都会から地方へ生活基盤確立のため、都会と比較して遜色のない道路インフラ整備を含めた地域社会の基盤強化は急務であり、むしろ費用対効果を高めるための戦略が求められています。

直近の本市への国際観光客は約41万人で、このことにより大型バスやレンタカー等の交通量

の増大、比田勝港から巖原港までの走行時間短縮や快適性が費用対効果分析指数に、本市の特性として加点できるのではないのでしょうか。

さらに、181の地域各所に、大型バスが周遊できることを目的とした国道、県道、市道における道路インフラ整備は最重要課題ではないのでしょうか。

巖原港から比田勝港までの国道は、南北の物流や観光産業の動脈であり、東西の県道や市道は静脈として捉えています。

未改良区間の早期工事再開に向けた、道路インフラ整備を今後どのように進められるのか、振興計画も含めて御見解をお尋ねします。

3点目の巖原港国内ターミナルのバリアフリー化についての質問です。

初めに、身体障害者専用駐車場の確保についてであります。以下、身障者と表現させていただきます。

さて、巖原港におけるフェリー及びジェットフォイルの国内航路の乗降数は、平成30年実績では、22万7,450名の利用が報告されています。1日当たりに換算しますと、乗降利用者は約620名となっています。

このため、巖原港国内ターミナル周辺の駐車場はいつも満車状態で、利用者にとっては駐車場の確保に苦慮されているのが現状でございます。

また、お盆や年末年始の帰省期間や大型連休期間のターミナル周辺は、大変混雑しています。

このような状況下で、本土の医療機関へやむなく紹介のため、介助を要する身障者の方が、フェリーやジェットフォイル利用の際、国内ターミナル付近に2台分の専用駐車場は確保されていますが、一般車両の駐車となっており、利用できない現状でございます。

また、本土の医療機関への紹介による乗降は、救急車両や介護施設の搬送車両のみならず、御家族の自家用車での利用もでございます。

救急車両や介護施設の搬送車両での乗降は、ターミナル入口付近で、衆目の中で容易に行えていますが、自家用車両での乗降のため駐車しますと、ターミナル関係者から注意や指導的となりかねないと考えています。このことは憂慮すべき事態であります。

また、身障者の乗降が安心して利用できることを目的に、駐車許可証などの発行ができないか御見解をお願いします。

さらに、雨天時や強風などの悪天候の乗降を考慮し、巖原港国内ターミナル付近に身障者専用の屋根付き駐車場の確保ができないかもお尋ねします。

結びに、ターミナルビル内に身障者専用の待合室の確保についてですが、御家族などの介助者を含めて、ゆったりと安心できる待合空間のスペースを確保できないか、以上の3項目について市長の御見解よろしくお願いたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 伊原議員の質問にお答えいたします。

初めに、比田勝港及び厳原港並びに対馬空港へのライブカメラ設置による可視化についてでございますけれども、この3カ所には、それぞれ現在監視カメラが設置をされているところでございます。また、ジェットフォイル、飛行機など、公共交通機関の運行情報につきましては、それぞれ交通事業者がウェブサイト、電話等に対応しているところでございます。海や空の玄関口は、駐車場などにライブカメラを設置し、CATVで放送できないかとのことでございますが、観光地の駐車場の満車状況や交通の混雑状況などをホームページ、CATVで配信している自治体もでございます。本市では現在、CATV自主チャンネルのデータ放送において、2カ所のライブカメラ映像を視聴することができます。これは、対馬市CATV事業の一環で水産基盤整備事業によりまして、漁港施設の監視、海峡、気象の映像確認等を目的に漁港などに監視カメラを設置しており、このカメラを活用して放送しているものであります。現行の漁港監視カメラ設備と同様のライブカメラ放送は技術的には可能でございますが、プライバシー保護の観点から、配慮も必要であり、新たなライブ用カメラの設置や放送システムの構築等に多額の費用が発生をいたします。また、平成28年度からCATV施設の更新を順次進めておりますけれども、現行のサービス提供に必要な施設更新が優先される中、新たな監視カメラ設備設置の提案の趣旨は理解いたしますけれども、仮に港や空港の駐車場にライブカメラを設置いたしましても、自宅などからの移動の間にも駐車場の状況は刻一刻と変わるわけでありますので、テレビを活用してのライブ放映では、利用する市民にとっても効果は薄いものと思われ、費用対効果の面からも新たな監視カメラの設置は非常に厳しい状況であると考えます。あわせて週末等に駐車場が満車になり、御不便をおかけしている点につきましては、管理者である長崎県へ駐車場の拡張などを要望してまいりたいというふうに考えております。

次に、2点目の本市における国県道及び市道の未改良区間の取り組みと今後の計画及び事業採択に向けた戦略の確立についてでございますけれども、まず国道382号線の美津島町の緒方口から大船越間でございますけれども、この区間につきましては、県におきましても整備の必要性を十分御理解いただいているところでございます。この区間は、以前計画されておりましたゴルフ場開発により、広範囲にわたり用地買収がなされておりますことから、現時点での大規模な改良は厳しいと認識しております。

次に、上県町の美止々、佐護間でございますけれども、平成29年12月に大地バイパスが完成したことにより、今年度から新規事業として採択されたところでございます。事業概要といたしましては、総事業費約20億円、計画延長1,300メートルのバイパス道路で計画されております。次に、主要地方道厳原豆殿美津島線でございますけれども、現在、尾浦から内山坂トンネル間、

加志から箕形間を着手中で、県といたしましても、現在着手している区間の早期完成を第一に考えており、新規工区の事業実施は厳しいと考えております。そのような状況ではございますけども、御質問の未着手区間のうち、内山坂トンネルから浅藻間の久和地区につきましては、局部改良を実施しているところでございます。

次に、豆殿瀬間におきましては、一部側溝の蓋かけなどの路肩整備は実施している状況です。また、豆殿集落内については、市が管理する河川を利用した離合場所の確保ができないか等県と協議を進めているところでございます。

次に、上槻、椎根間の殿浜工区につきましては、費用対効果等の理由により、平成15年度から休止となり、今後も事業再開は厳しいと伺っております。

次に、主要地方道上対馬豊玉線でございますが、豊玉町曾地区の未改良区間のうち、位え端工区を平成31年度から新規工区として総事業費約20億円、計画延長1,700メートルで計画されております。

次に、主要地方道木坂佐賀線でございますが、木坂から狩尾間並びに大久保から佐賀間におきましては、現在のところ改良の計画はございませんが、昨今の交通量の増加に伴う離合困難な箇所解消に向けての要望を行ってまいりたいと考えております。

次に、一般県道大浦比田勝線でございますが、本路線は、比田勝から大浦を周回する総延長11キロの幹線道路で、豊工区が未改良となっておりますが、今年度新規事業として採択されております。事業概要といたしましては、総事業費約11億円、計画延長1,400メートルを予定しております。

次に、一般県道唐崎岬線でございますが、本路線も豊玉町西部地域におきましては、重要な幹線道路であり、沿線7地区で組織されております一般県道唐崎岬線道路改良促進委員会とともに要望を行っておりますが、現状としては、側溝の蓋かけなどの路肩整備を実施していただいている状況でございます。

続きまして、新規事業採択での費用便益分析についての御質問でございますけども、現在の補助事業での採択には、費用対効果の算出が必須となっております、重要なポイントとなっております。議員御指摘のとおり、本市における費用対効果は幹線道路を除く多くの路線で低い状況でございます、新規事業の採択に向けて非常に高いハードルとなっております。これをクリアするためには、交通量が増加することが一番ありますが、昨今の観光客の増加に伴い、観光バスやレンタカー等の交通量が増加しているものの費用対効果の基準をクリアできるほどの増加には至っていない状況であります。また、振興計画におきましては、補助事業で採択可能な路線は補助事業で計画し、補助での採択が厳しい路線につきましては、起債事業や単独事業での実施を含めて計画しており、費用対効果の影響に左右されることなく迂回路のない唯一の道路や幹線道

路、緊急輸送道路、生活道路、通学路といった総合的判断から優先度に応じた計画を行っております。

次に、3点目の厳原港国内ターミナルビルのバリアフリー化についてでございますが、身体障害者用の専用駐車場については、現在の厳原港国内ターミナル前の駐車場は駐車台数が38台と少なく、うち2台分を車いす使用者専用駐車場として確保しております。しかしながらジェットフォイル、フェリーの利用者が多く常に満車状態で、車椅子使用者専用スペースも利用できないのが現状でございます。また、屋根つきのタクシー乗降場を利用しようとしても、駐車車両があり、車椅子使用者の方には御不便をおかけしているところでございます。車椅子専用の屋根つき駐車場の確保ができないかとの質問でございますが、一部屋根つきの駐車場がございまして、ターミナルの入り口まで遠いため、特に雨天時等は不便を来すと考えております。そのため、車椅子使用車専用の乗降スペースをターミナル入り口右側のスロープ前付近に確保する方向で対馬振興局と協議中でございます。そうすれば、雨にぬれずにターミナルへのアクセスが可能となります。また、車椅子使用者の送迎車両につきましては、その前面に専用駐車場を確保しておりますので、そこに駐車していただければよいのではないかと考えております。

2番目の身体障害者を自家用車で安心して送迎ができるよう、駐車場許可証などの発行の考えはないかとの御質問ですが、現在、対馬病院では、長崎県パーキングパーミット制度を活用し、身体障害者、高齢者、妊産婦等に身体障害者専用駐車場利用証を交付し、身体障害者駐車スペースを利用いただいております。厳原港におきましても、この制度を活用できないか関係部局と協議し、検討したいと思っております。

次に、身体障害者及び介助者専用の待合スペースの設置でございますが、現在、国内ターミナル1階の九州郵船様の事務所前に障害者、高齢者、妊産婦専用の待合室を設置しております。また、2階待合室につきましても、階段を上った正面に、部屋はございませんが専用のスペースを設けております。それぞれ案内板等は設置しておりますけれども、1階の専用待合室の存在は知らない方が多いため、今後多くの方に利用していただけるよう、周知を図ってまいりたいと思っております。

現在、新しい国内ターミナルの建設に合わせて、県による駐車場の整備も進んでいくものと思っております。国内ターミナルはもちろん、駐車場において県と協力し、身体障害者、高齢者等が使いやすい施設づくりに努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） まず、1点目のCATVを活用したライブカメラの設置ということでお答えいただきました。その乗降客を写すんじゃなくて、船や飛行機の入出港、航空機でござ

ざいますので、プライバシー上は何も、プライバシーはないと思いますけど、これについては少し、考えが違ったかなと思っております。それから、監視カメラという表現をなされましたけれども、これにつきましては、私が今考えておるのは、定点映像です。監視カメラじゃございませんので、このあたりは少し理解させていただければと思っております。

それから、各港の静止画像、私も確認させていただきました。CATVさんで、これネット環境がないと不可能でございますので、当然高齢者の方々は、その域には達していなというふうに感じております。港も見ましたが、静止画像もただ見るだけでは、どうかなという気がいたしました。私が今回質問させていただいた分は、あくまでも定点映像ですので、リアルタイムにチャンネルひねればそれぞれの空と海の玄関口の情景が確認できるのではないかと。ある程度CATVさんもいろんな工夫をされておるのは重々承知しておりますが、少し新たな発想で、そのあたりを少し考えられてはいかかかなということで今回質問させていただいた次第です。CATVさんも多額の予算をかけて機器更新も計画されておりますけれども、視聴率がせっかく対馬市のCATVでございますので、やはり視聴率が上がるような手立てが当然必要と考えております。そのためには、対馬市のお知らせの一角にでもカメラ映像、定点映像が少し見られれば、やはりあきのこないことになるんじゃないかなろうかということでもあります。この件につきましては、厳しいというお答えでございますが、いずれにしても、いろんな審議会等がございましょうから、そのあたりでも少しこういう提案があったということをお伝えできればなというふうに思っております。

2点目の一番重要な課題の道路です。道路の問題でございます。先月中旬、比田勝で介護福祉施設や生活空間の提供など、多岐にわたる事業展開をなさっている企業の新年会に出席する機会がございました。この間、厳原港から比田勝港まで8台の観光バスと遭遇しましたが、急カーブや狭隘な箇所や大型車両との離合難所が存在をしています。厳原港から比田勝港まで随分と走りやすくはなっておりますけれども、まだ多くの難所があるかと思っております。市長も厳原から比田勝まで帰省をされることもありましようけども、その間、やはり道路事情が悪いなと思うところが数カ所ございますですね。そのあたりをどうかしたいという思いで運転されているのか、それともほかのことを考えながら運転されているのか、そのあたりを少し市長の見解をお願いします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 大変貴重な御意見を問われたところでございますけども、私も皆様と同じように、ぼーっとして走っているわけじゃございませんで、やはりここも改良が必要だなと、そしてまたここはもう少し道を広くしていただけたらなとか、この区間は早くトンネルができればいいなというような思いでいつも走っているところでございまして、1日も早い対馬の道路環



境が改善されることを望んでいる者の1人でございます。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） ありがとうございます。近年、学校統合がありました。私の佐須地区でも、阿連小学校、それから大調小学校、これは児童数の減少によって閉校となり、近隣の学校への統合となっております。このことにつきましては、とやかく言うことではございませんが、やはり安全な通学路の確保、これは学校統合とリンクしたことじゃないかと。やはり安全な道路の確保を、学校統合によって子どもたちが安心安全な通学路を確保できるように、これは市長部局に統合の際の要件として、ひとつ教育委員会のほうも問題提起をしていただければなというふうに考えております。

今、一番問題がやはり厳原豆殿美津島線、尾崎のほうに大型車両がマグロの搬送で交通量が随分多くなっておりますが、現在は、阿連小茂田間を大型車両が運行しています。阿連の一部の地域ですけど、大型車両が通るたびに家が揺れるということがございまして、このことは県振興局には情報は上がっております。市の方も少しそのあたりを県振興局のほうと共有されて、いずれにしても今後の対策は講じられると思いますので、これはぜひお願いしたいと思います。

それから、先般、豆殿に行く用件がございまして、豆殿の方々から、美女塚の通り過ぎた右側に道路がございまして、これがまだ途中まで、道路が途中までみたいですけど、内山の鮎もどしこちらにつながってもらえれば、随分助かるなというようなお話をされてありました。国有林があつて、以前も、前回も何か少し協議がされてあつたというふうに聞いておりますけど、このあたりは、今回ちょっと質問の中に入っておりませんが、現場の検証を実地調査と検証をされて、できるならば、目的地までの時間が少しでも短縮できるように進めていただければなと思っております。

大型バスが当然今多く市内を運行しております。バス同士、またはトラックだとか、当然難所がございまして、ぜひ進めていただければと思いますが、市内の各所の道路をその大型バスが周遊できるような、そういった観光道路的なことも、是が非でも必要じゃないかと。一旦行きどまりで、それからまたバックするような状況がございまして、観光ということを推進されている中では、やはりちょっとまだ乏しいこととございまして、この道路問題については、やはり今ロードマップを示すことが重要と考えておりますが、今回の市道も、9路線ですか、供用開始まで2路線は年度末で恐らく可能だろうという御説明を受けましたけれども、まだ進捗率が3%あと7路線が3%から80%ということですので、まだまだこの道路改良整備には随分時間を要するんじゃないかと。やはりスピード感をもって柔軟に対応していただきたいと。これは毎日の生活、日々の生活の中で今一番道路インフラがネックとなっておりますので、何としまして、優先順位も予算もございませうけれども、とにかくにも交通事故、安全な走行ができる

ような対策をぜひ講じていただきたいというふうに考えております。市長の道路インフラ整備に係る意気込みをもう一度お願いをいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 先ほどから、議員さんのほうからいろいろと御指摘もいただいておりますように、私といたしましても、現在の国道、県道、そして市道は決してまだまだ満足がいける道路ではないと。まして観光インフラを進めていくためには、もう少しスピード感をもって整備を進めていかなければならないというような思いは持っているわけではございますけれども、何せそこにちょっとまだまだ充当するだけの予算がなかなか厳しいというような状況でございます。私といたしましても、このインフラ整備につきましては、できるだけ予算を投入したいというふうに常々考えているところでございますので、どうぞそこら辺のところを御理解いただきますようお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） ぜひ進めていただきたいと。このことはやはり市民の願いの一つであろうかと思っております。通称比田勝ロードでも名づけたいぐらいの気持ちがございまして、とにもかくにも早急な対策をよろしくをお願いをいたします。

次、行きます。3点目です。身障者の方がやむなく島外の病院に紹介される折に、やはり駐車場がないと。先ほど車いす専用の2台分の駐車場を確保しているということでございますけれども、ここが一般車両の駐車場で利用できないということでございます。例えば、ターミナルの関係車両、その車椅子専用で駐車して、そして身障者の方が先ほど許可証の話が出ましたけれども、それを窓口で提示して、入れかえるというぐらいの配慮が必要じゃないかと思うんです。やはりどういった思いでされておるのか、自分の身に置きかえて、考えていただければと。これは本当に大変なことだと思います。救急車とか、介護福祉施設での送迎につきましては、職員さん、あるいは消防署員さんで進められますけど、御家族でやはりそういったケースもございまして。歩行介助が必要で、今特にジェットフォイルの1便、フェリーとの接岸の関係で、ちょっと距離的に搭乗口まで非常に長く、その長さを見込んで早めにお見えになっても、駐車場がないということですから、これはもうやきもきされるのは当たり前だと思います。先ほども申しました車椅子の専用駐車場にターミナルビルの管理運営の車両を置いて、そして窓口を提示して入れかえるというような手立てを考えていただきたいと思うんですけど、そのあたりを少し市長のお考えをぜひお願いしたいと思います。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 先ほど冒頭の答弁の中でも申しましたように、現在、国内ターミナルの前の駐車場は38台、非常に狭い、そして少ない状況でございます。ここに身体障害者専用とし

での駐車場は2台確保していると先ほども申しましたけども、ただ、この駐車場がペイントも消えかかっておりまして、恐らくここが身体障害者用の専用駐車場だというふうに認識されてある方が少ないんじゃないかなろうかと私自身も思っております。そういうことで、まず、このところにきちんとマーカーで専用駐車場というようなマーカーをした上に、その背後にポール等を立てて、ここは身体障害者用の専用駐車場ですというような表示をしていきたいと思っております。それと、このターミナルに入られる際は、先ほども申しましたように、入り口の右側のほうに専用の部分を設けて、ここからターミナルに身体障害者の方を入れるというようなことを目指していきたいなというふうに思っております。このことにつきましては、長崎県、そしてまた九州郵船や関係者の皆様とここら辺の協議を進めていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 2番、伊原徹君。

○議員（2番 伊原 徹君） 専用駐車場のペイントが非常に薄くて、あまり周知がされていないということで、当然カラーコーンを置いてもひよいとのけられる可能性もございます。一番いい方法は、先ほど申しましたように、関係車両をまずそこに置いておいて、駐車をして、そして何らかの提示をされたら入れかえるということであれば、それが一番安心されるじゃないかというような気がいたします。そのあたりを県、九州郵船さん、市も入って、とにかくお困りになつとる今の状況を打開するように、早めに手を打っていただきたいと。

飛行機あたりの乗降については、やはりグランドサービスの方々が非常にやさしく接していただけます。先ほど申しました自家用車での乗降について、やっぱり恐る恐るじゃないですけど、遠慮しながら乗降されておりますので、堂々と乗降ができるように、先ほどの県、あるいは九州郵船の関係者にもその旨をお伝えをして、優先的に何らかの形で対応できるように、また利用できるように、是が非でもお願いをしたいというふうに考えておりますので、早めに協議会の中でしっかりと取り組んでいただきたいというふうに考えております。

いろいろ、3点、ちょっと大変長うございましたけれども、できることとできないことは重々承知しております。しかし、このバリアフリー化については、ある程度できる範囲じゃないかと私は思っております。道路につきましては、当然多額の予算が必要でございます。これも優先順位もございましょうし、それから、大船越のカーブのところも当然なかなか持ち主との協議が厳しいということもございます。これも以前から話があったと思いますけれども、このことにつきましても、やっぱりできるように、何とか少しずつでもできるようにしていただければというふうに考えております。

1点目につきましては、残念な結果になりましたけれども、3点目のバリアフリー化については、本当にお困りになっておりますので、安心して利用できるように、ぜひ進めていただきたい

というふうに考えております。

以上で終わります。ありがとうございます。

○議長（小川 廣康君） これで、伊原徹君の質問は終わりました。

---

○議長（小川 廣康君） 以上で本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

3月11日も引き続き定刻から市政一般質問を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後2時50分散会

---